

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公開番号】特開2009-48243(P2009-48243A)

【公開日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-009

【出願番号】特願2007-211166(P2007-211166)

【国際特許分類】

G 0 7 D 9/00 (2006.01)

G 0 6 Q 40/00 (2006.01)

【F I】

G 0 7 D 9/00 4 5 1 C

G 0 7 D 9/00 4 7 1

G 0 7 D 9/00 4 6 1 Z

G 0 6 F 17/60 2 3 6 A

G 0 6 F 17/60 2 2 2

G 0 6 F 17/60 2 4 4

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月26日(2010.2.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

店舗に設置され、金融機関のセンタに設置されるホストコンピュータとの間で少なくとも顧客の口座における口座番号に基づいて各取引処理を実行するための自動取引装置と、前記センタに設置され、通信回線を介して該自動取引装置に接続するサーバとを含む取引処理システムであって、

前記自動取引装置は、

前記取引処理の実行を特定の店舗に設置された各自動取引装置に限定すべく限定要求データと、前記特定の店舗を指定するための店舗識別データと、前記口座番号とを入力する装置入力部と、

入力された前記限定要求データ、前記店舗識別データ及び前記口座番号を前記サーバへ送信する装置送信部とを備え、

前記サーバは、

前記自動取引装置から前記限定要求データ、前記店舗識別データ及び前記口座番号を受信するサーバ受信部と、

受信した前記限定要求データに基づき、受信した前記店舗識別データを除外して、他の各店舗識別データ及び受信した前記口座番号に対応して、前記取引処理の実行不可を示す不可データを設定する設定部とを備える

ことを特徴とする取引処理システム。

【請求項 2】

前記サーバは、各口座における口座番号と各店舗識別データとに対応して、不可データを格納可能なサーバ格納部を更に備え、

前記設定部は、前記サーバ格納部に不可データを設定することを特徴とする請求項 1 記載の取引処理システム。

【請求項 3】

前記サーバは、

前記取引処理に利用された店舗の店舗識別データを履歴店舗識別データとして、口座番号に対応させて格納する履歴データ格納部と、

口座番号に基づいて、前記履歴データ格納部から対応する履歴店舗識別データを読み出すための読出部とを更に備え、

前記自動取引装置において、

前記装置入力部は、前記取引処理の実行を最近利用した店舗に設置された各自動取引装置に限定すべく履歴限定要求データと、前記口座番号とを入力し、

前記装置送信部は、入力された前記履歴限定要求データ及び前記口座番号を前記サーバへ送信し、

前記サーバにおいて、

前記サーバ受信部は、前記自動取引装置から前記履歴限定要求データ及び前記口座番号を受信し、

前記読出部は、受信した前記口座番号に基づいて、対応する履歴店舗識別データの読み出しを行い、

前記設定部は、受信した前記履歴限定要求データに基づき、読み出された前記履歴店舗識別データを除外して、他の各店舗識別データ及び前記口座番号に対応する不可データの設定を行うことを特徴とする請求項 1 記載の取引処理システム。

【請求項 4】

前記サーバは、

各店舗識別データに対応して、該店舗の種別を示す種別識別データを格納する店舗データ格納部と、

種別識別データに基づいて、前記店舗データ格納部から対応する店舗識別データを読み出すための読出部とを更に備え、

前記自動取引装置において、

前記装置入力部は、特定の種別の店舗に設置された各自動取引装置における前記取引処理の実行を不可とすべく種別不可要求データと、前記特定の種別を指定するための種別識別データと、前記口座番号とを入力し、

前記装置送信部は、入力された前記種別不可要求データ、前記種別識別データ及び前記口座番号を前記サーバへ送信し、

前記サーバにおいて、

前記サーバ受信部は、前記自動取引装置から前記種別不可要求データ、前記種別識別データ及び前記口座番号を受信し、

前記読出部は、受信した前記種別識別データに基づいて、対応する店舗識別データの読み出しを行い、

前記設定部は、受信した前記種別不可要求データに基づき、読み出された前記店舗識別データ及び受信した前記口座番号に対応する不可データの設定を行うことを特徴とする請求項 1 記載の取引処理システム。

【請求項 5】

金融機関のセンタに設置されるサーバと、該サーバとの間で通信を行う端末装置とを含む取引処理システムであって、

前記端末装置は、

前記取引処理の実行を特定の店舗に設置された各自動取引装置に限定すべく限定要求データと、前記特定の店舗を指定するための店舗識別データと、前記口座番号とを入力する装置入力部と、

入力された前記限定要求データ、前記店舗識別データ及び前記口座番号を前記サーバへ送信する装置送信部とを備え、

前記サーバは、

前記端末装置から前記限定要求データ、前記店舗識別データ及び前記口座番号を受信す

るサーバ受信部と、

受信した前記限定要求データに基づき、受信した前記店舗識別データを除外して、他の各店舗識別データ及び受信した前記口座番号に対応して、前記取引処理の実行不可を示す不可データを設定する設定部とを備える

ことを特徴とする取引処理システム。

【請求項 6】

前記サーバは、各口座における口座番号と各店舗識別データとに対応して、不可データを格納可能なサーバ格納部を更に備え、

前記設定部は、前記サーバ格納部に不可データを設定することを特徴とする請求項 5 記載の取引処理システム。

【請求項 7】

前記サーバは、

前記取引処理に利用された店舗の店舗識別データを履歴店舗識別データとして、口座番号に対応させて格納する履歴データ格納部と、

口座番号に基づいて、前記履歴データ格納部から対応する履歴店舗識別データを読み出すための読出部とを更に備え、

前記端末装置において、

前記端末入力部は、前記取引処理の実行を最近利用した店舗に設置された各自動取引装置に限定すべく履歴限定要求データと、前記口座番号とを入力し、

前記端末送信部は、入力された前記履歴限定要求データ及び前記口座番号を前記サーバへ送信し、

前記サーバにおいて、

前記サーバ受信部は、前記端末装置から前記履歴限定要求データ及び前記口座番号を受信し、

前記読出部は、受信した前記口座番号に基づいて、対応する履歴店舗識別データの読み出しを行い、

前記設定部は、受信した前記履歴限定要求データに基づき、読み出された前記履歴店舗識別データを除外して、他の各店舗識別データ及び前記口座番号に対応する不可データの設定を行うことを特徴とする請求項 5 記載の取引処理システム。

【請求項 8】

前記サーバは、

各店舗識別データに対応して、該店舗の種別を示す種別識別データを格納する店舗データ格納部と、

種別識別データに基づいて、前記店舗データ格納部から対応する店舗識別データを読み出すための読出部とを更に備え、

前記端末装置において、

前記端末入力部は、特定の種別の店舗に設置された各自動取引装置における前記取引処理の実行を不可とすべく種別不可要求データと、前記特定の種別を指定するための種別識別データと、前記口座番号とを入力し、

前記端末送信部は、入力された前記種別不可要求データ、前記種別識別データ及び前記口座番号を前記サーバへ送信し、

前記サーバにおいて、

前記サーバ受信部は、前記端末装置から前記種別不可要求データ、前記種別識別データ及び前記口座番号を受信し、

前記読出部は、受信した前記種別識別データに基づいて、対応する店舗識別データの読み出しを行い、

前記設定部は、受信した前記種別不可要求データに基づき、読み出された前記店舗識別データ及び受信した前記口座番号に対応する不可データの設定を行うことを特徴とする請求項 5 記載の取引処理システム。

【請求項 9】

顧客の口座番号を含む顧客情報を保持して自己及び複数の他の自動取引装置に対し金融機関のホストコンピュータとの取引処理の実行の可否を通知するサーバに、通信回線を介して接続されている自動取引装置であって、

前記取引処理の許可すべき1以上の自動取引装置を特定するための特定データ及び前記口座番号を入力する入力部と、

前記通知を行わせるために前記顧客情報に前記特定データを設定させるべく該特定データ及び前記口座番号を前記サーバへ送信する送信部と、

を含むことを特徴とする自動取引装置。

【請求項10】

顧客の口座番号を含む顧客情報を保持して自己及び複数の他の自動取引装置に対し金融機関のホストコンピュータとの取引処理の実行の可否を通知するサーバに、通信回線を介して接続されている自動取引装置であって、

前記取引処理を不許可とすべき1以上の自動取引装置を特定するための特定データ及び前記口座番号を入力する入力部と、

前記通知を行わせるために前記顧客情報に前記特定データを設定させるべく該特定データ及び前記口座番号を前記サーバへ送信する送信部と、

を含むことを特徴とする自動取引装置。

【請求項11】

前記特定データは、自動取引装置の設置されている店舗の識別データ又は自動取引装置の設置されている地域の識別データであることを特徴とする請求項9又は10に記載の自動取引装置。

【請求項12】

前記特定データは、最近利用した自動取引装置の設置されている店舗の識別データであることを特徴とする請求項9記載の自動取引装置。

【請求項13】

前記特定データは、特定の種類の店舗の識別データであることを特徴とする請求項10記載の自動取引装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】取引処理システム及び自動取引装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

〈構成2〉

第2発明に係る取引処理システムは、金融機関のセンタに設置されるサーバと、該サーバとの間で通信を行う端末装置とを含み、端末装置は、取引処理の実行を特定の店舗に設置された各自動取引装置に限定すべく限定要求データと、特定の店舗を指定するための店舗識別データと、口座番号とを入力する装置入力部と、入力された限定要求データ、店舗識別データ及び口座番号をサーバへ送信する装置送信部とを備え、サーバは、端末装置から限定要求データ、店舗識別データ及び口座番号を受信するサーバ受信部と、受信した限定要求データに基づき、受信した店舗識別データを除外して、他の各店舗識別データ及び受信した口座番号に対応して、取引処理の実行不可を示す不可データを設定する設定部とを備えることを特徴とする。

〈構成3〉

第3発明に係る自動取引装置は、顧客の口座番号を含む顧客情報を保持して自己及び複数の他の自動取引装置に対し金融機関のホストコンピュータとの取引処理の実行の可否を通知するサーバに、通信回線を介して接続されている自動取引装置であって、前記取引処理の許可すべき1以上の自動取引装置を特定するための特定データ及び前記口座番号を入力する入力部と、前記通知を行わせるために前記顧客情報に前記特定データを設定させるべく該特定データ及び前記口座番号を前記サーバへ送信する送信部とを含むことを特徴とする。

〈構成4〉

第4発明に係る自動取引装置は、顧客の口座番号を含む顧客情報を保持して自己及び複数の他の自動取引装置に対し金融機関のホストコンピュータとの取引処理の実行の可否を通知するサーバに、通信回線を介して接続されている自動取引装置であって、前記取引処理を不許可とすべき1以上の自動取引装置を特定するための特定データ及び前記口座番号を入力する入力部と、前記通知を行わせるために前記顧客情報に前記特定データを設定させるべく該特定データ及び前記口座番号を前記サーバへ送信する送信部と、を含むことを特徴とする。